

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月9日

上場会社名 株式会社 朝日ネット
 コード番号 3834 URL <http://asahi-net.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 公哉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 中野 功一
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

市場取引所 東

TEL 03-3569-3835

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	4,613	—	1,140	—	1,166	—	684	—
20年3月期第3四半期	4,129	2.7	970	0.0	977	4.6	566	4.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	21.08	—
20年3月期第3四半期	17.44	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第3四半期	8,758	—	7,629	—	87.1	234.87
20年3月期	8,479	—	7,464	—	88.0	229.79

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,629百万円 20年3月期 7,464百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
20年3月期	—	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	6.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	14.1	1,550	13.3	1,580	13.8	920	12.7	28.32

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	32,485,000株	20年3月期	32,485,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	100株	20年3月期	100株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	32,484,900株	20年3月期第3四半期	32,484,900株

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の数値等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

I S P (インターネット・サービス・プロバイダー) 業界では、平成20年9月末のF T T H (光ファイバー) 契約者数が、平成20年3月末から160万人増の1,375万人となり、景気後退が鮮明になる中におきましても、引き続き堅調に推移しております。

このような状況のもと、平成20年12月末のA S A H I ネットの会員数は、前年同期比6.7%増の432千人となりました。中でもF T T H接続会員数が、前年同期比25.6%増の187千人となり、引き続き大きく伸びております。

サービス面では、10月に「A S A H I ネット ひかりone ギガ得プラン」を発売し、最速の光接続サービスを業界最安値水準で提供開始したほか、迷惑メール対策などのセキュリティサービスの強化を図り、引き続き顧客満足度の向上に注力いたしました。

教育機関向けS N S 「マナバ」および「マナバフォリオ」については、4月からの新学期に向けて、受注が増加しております。中期的に、中学校高等学校への納入や海外展開も視野に入れ、事業を拡大するために体制を強化しております。

以上の結果、当第3四半期(9ヶ月)の売上高は4,613百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益は1,140百万円(前年同期比17.4%増)、経常利益は1,166百万円(前年同期比19.3%増)となり、法人税等を差し引いた四半期純利益は684百万円(前年同期比20.9%増)と、前年に比べて大幅な増収増益となりました。

※ 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。したがって、当第3四半期累計期間の損益計算書と前年同期の損益計算書とは作成基準が異なるため、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の増減

当第3四半期会計期間末における資産総額は前事業年度末に比べ278百万円増加の8,758百万円となりました。また、負債合計は前事業年度末に比べ113百万円増加の1,128百万円、純資産は前事業年度末に比べ165百万円増加の7,629百万円となり、この結果、自己資本比率は87.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1,023百万円減少の2,216百万円となりました。なお、当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益が1,154百万円ありましたが、法人税等の支払額486百万円等があったことにより、営業活動により得た資金は796百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の更新にかかる預入、払戻において1,100百万円の預入支出が増加したこと等により、投資活動により使用した資金は1,305百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動において使用した資金は、配当金の支払額514百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては平成20年5月8日公表時から変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、同事業年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

④ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,815,695	5,239,714
売掛金	1,343,638	1,245,404
有価証券	1,000,767	500,000
その他	126,687	95,382
貸倒引当金	△1,777	△1,900
流動資産合計	7,285,011	7,078,600
固定資産		
有形固定資産	261,007	193,650
無形固定資産	35,983	46,046
投資その他の資産		
投資有価証券	1,004,600	1,004,600
その他	171,823	157,094
投資その他の資産合計	1,176,423	1,161,694
固定資産合計	1,473,414	1,401,392
資産合計	8,758,425	8,479,993
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,920	166,942
未払金	606,088	540,316
未払法人税等	203,336	231,965
販売促進引当金	11,776	26,160
その他	79,624	50,001
流動負債合計	1,128,746	1,015,386
負債合計	1,128,746	1,015,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,480	630,480
資本剰余金	780,808	780,808
利益剰余金	6,218,426	6,053,354
自己株式	△36	△36
株主資本合計	7,629,678	7,464,606
純資産合計	7,629,678	7,464,606
負債純資産合計	8,758,425	8,479,993

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	4,613,650
売上原価	2,500,418
売上総利益	2,113,231
販売費及び一般管理費	973,163
営業利益	1,140,068
営業外収益	
受取利息	26,064
その他	463
営業外収益合計	26,528
営業外費用	
為替差損	63
営業外費用合計	63
経常利益	1,166,533
特別損失	
固定資産除却損	2,345
店舗閉鎖損失	9,330
特別損失合計	11,675
税引前四半期純利益	1,154,857
法人税等	470,027
四半期純利益	684,830

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,154,857
減価償却費	117,650
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△123
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△14,383
受取利息及び受取配当金	△26,064
有形固定資産除却損	2,345
店舗閉鎖損失	9,330
売上債権の増減額(△は増加)	△98,233
たな卸資産の増減額(△は増加)	△287
仕入債務の増減額(△は減少)	132,292
その他	△20,696
小計	1,256,687
利息及び配当金の受取額	26,448
法人税等の支払額	△486,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	796,632
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△4,600,000
定期預金の払戻による収入	3,500,000
有形固定資産の取得による支出	△180,001
無形固定資産の取得による支出	△8,155
その他	△17,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,305,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△514,612
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514,612
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,023,251
現金及び現金同等物の期首残高	3,239,714
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,216,463

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

前第3四半期にかかる財務諸表

(1) 前四半期損益計算書

区分	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	4,129,584	100.0
II 売上原価	2,183,033	52.9
売上総利益	1,946,551	47.1
III 販売費及び一般管理費	975,810	23.6
営業利益	970,741	23.5
IV 営業外収益	16,111	0.4
V 営業外費用	9,298	0.2
経常利益	977,554	23.7
VI 特別損失	15	0.0
税引前四半期純利益	977,539	23.7
法人税等	411,080	10.0
四半期純利益	566,458	13.7

(2) 前四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	977,539
減価償却費	117,249
貸倒引当金の増加額(△減少額)	62
販売促進引当金の増加額(△減少額)	△59,981
受取利息及び受取配当金	△15,773
売上債権の増加額	△109,770
たな卸資産の増加額	△10,731
仕入債務の減少額	△32,571
その他	△18,425
小計	847,597
利息及び配当金の受取額	9,585
法人税等の支払額	△771,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,864
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,000,000
有形固定資産の取得による支出	△116,867
無形固定資産の取得による支出	△13,093
その他	△21,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,151,668
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△259,879
その他	△9,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,177
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△3,334,981
V 現金及び現金同等物の期首残高	6,498,089
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,163,108

6. その他の情報

販売実績

(単位：千円、%)

区 分	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
	金額	構成比
インターネット接続サービス	3,630,152	78.7
インターネット関連サービス	804,090	17.4
その他	179,407	3.9
合 計	4,613,650	100.0